

# 米軍無人機「MQ-9」の一時展開について

岡市政策推進課 ☎0994-31-1125



5月23日、防衛省の岩本政務官が説明のため来庁

## 「MQ-9 一時展開計画」の概要

**任務** 東シナ海を中心とする日本周辺海域における情報収集活動  
**期間** 令和4年7月から1年間  
**規模** 機体：8機  
 要員：150～200人程度（機体操作要員、整備要員、後方支援要員等）

### 米軍関係者について

- ・滞在は鹿屋基地外の宿泊施設を使用
- ・公務外の時間帯や休日は、鹿屋基地外で飲食店や商業施設を利用することもある
- ・移動手段は、公共交通機関、公用車、レンタカーの使用を想定
- ・日本の習慣や法律等について教育を実施

### 防衛省の鹿屋市での対応について

- ・事件や事故等が発生した場合の連絡体制も含め、現地での速やかな調整・対応ができる体制を整備

## 一時展開計画の背景

近年、東シナ海を中心に日本の周辺海域で周辺国が活動を活発化させていることから、国においては周辺海域における情報収集態勢の強化は防衛上の深刻かつ喫緊の課題であるとし、海上自衛隊鹿屋航空基地に米軍無人機「MQ-9」を一時展開することが検討されています。

## 現地調査と防衛省の見解

2月から3月にかけて、鹿屋基地での展開が運用上可能か次の項目について現地調査が行われました。

- ① 基地インフラ  
（基地内施設、滑走路等の整備状況など）
- ② 航空管制
- ③ 活動基盤（宿泊、食事、車両など）

現地調査及びその後の日米間の検討の結果、鹿屋基地におけるMQ-9の安定的な運用は可能であると確認。また、周辺海域の情報収集活動を適切に行うための地理的位置関係、情報収集における米軍と自衛隊の連携強化の重要性など、様々な観点から検討した結果、防衛省は鹿屋基地での展開が最適であるとし、市に対し理解と協力を求めました。

## MQ-9について



画像：米ジェネラル・アトミックス社バンフレットから

全幅：20.12m 地上から遠隔操縦するプロペラ推進式の無人偵察機。国内で  
 全長：10.97m ラ推進式の無人偵察機。国内で  
 全高：3.81m の無人機は、米軍が青森県三沢  
 最大離陸重量：4.76t 基地及び東京都横田基地で展開  
 運用速度：333km/h し、近く山口県岩国基地でも展  
 航続距離：8,519km 開予定。航空自衛隊も3月から  
 滞空時間：32時間 三沢基地に配備している。

## MQ-9 一時展開を巡る経緯 -progress-

- 1月27日 一時展開に関し、九州防衛局が初来庁・説明
- 2月21日 九州防衛局が来庁、現地調査について説明
- 2月28日～3月4日  
日米調査員による現地調査（基礎的調査）
- 3月14日～18日  
日米調査員による現地調査（細部・専門的調査）
- 5月23日 防衛省の岩本剛人政務官が来庁し  
計画について市に対し正式に説明
- 5月26日 鹿屋市議会全員協議会で防衛省が説明
- 5月27日 鹿屋市基地関係連絡協議会で防衛省が説明
- 6月3日～5日  
市内5か所で防衛省の説明による住民説明会

## 住民説明会

6月3日から5日にかけて市内5か所で開催された防衛省による住民説明会では、次のような意見や質問がありました。

- ・1年間としている配備期間について延長されることはないのか。
  - ・無人機の事故が起きた際の日本側の捜査権の範囲はどうなっているのか。
  - ・部隊の一時展開により治安の悪化が懸念されるが、どう対処されるのか。
  - ・米軍関係者に夜間の外出制限を設けてもらえないのか。
  - ・新型コロナウイルス感染症対策の観点からホテルではなく鹿屋基地内に宿泊できないか。
- ※説明会での質問と回答については市ホームページに掲載しています。



▲市ホームページ